

一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校



MOGI NEWS LETTER

「誇りと思いやり」

長崎市立茂木中学校
学校だより 第4号
令和8年5月15日

文責 校長 須賀野 由美

悔いのない、思い出に残る、感動の体育祭に

いよいよ明後日に迫った体育祭本番。予行練習での課題を改善し、より良いものを目指して、最後まで練習を積み重ねました。

一人一人が「根性(最後までやり抜く強い精神力)」で、競技、演技、係の仕事で全力を出し切り、一生懸命頑張ったと誇りに思える体育祭にしてほしいと思います。



連日、早朝から鬼塚先生と運動場のライン引きをしている実行委員の皆さん、ありがとうございます！

紅組団長:山下さん 白組団長:山口さん

二人の団長を中心に、3年生が1・2年生をリードして応援合戦「茂木ストーリー」を繰り広げます！保護者の皆様、どうぞ温かいご声援よろしくお願いいたします。

「新しい光の中で」

走る者たちは ひたすら熱中して走る…

東日本大震災直後、「心は誰にも見えないけれど心づかいには見える」というCMが流れていました。宮澤章二さんの「行為の意味—青春前期の君たちへ贈る心の詩」の一部で、全国中学ビブリオバトル優勝者が選んだ本としても注目されました。体育祭直前の皆さんに読んでもらいたいと思います。自分たちで調べてみましょう。

「ありがとう」で相手も自分も幸せに

体育祭を前に、本校の石橋庁務員さんが連日長時間にわたって除草作業をしてくださっています。その作業中に、「草刈りありがとうございます！」と声をかけた3年生がおり石橋さんが感激していました。また、配膳室の川口さんにも、最近「ごちそうさまでした！ありがとうございます！」という生徒が増えてきたそうです。感謝の気持ちを伝える一言は、言われた人を幸せにします。また、「ありがとう」ということで、自分がどれほど多くの支えを受けているかに気付きます。これからも学校の中に「ありがとう」が飛び交ってほしいものです。